



## 蜂屋元禄俳人之碑(蜂屋町)

瑞林寺参道の脇に「蜂屋元禄俳人之碑」があります。これは、蜂屋出身の俳人堀部魯九を顕彰した碑です。

魯九は元禄13年(1700)、松尾芭蕉の十哲内藤丈草が蜂屋へ訪れたのをきっかけに俳諧へ導かれました。丈草の死後、西国を行脚し、旅の記録と句作を集め『春鹿集』にまとめました。風雅の道<sup>はるのしか</sup>を求めた元禄俳人魯九もこの道を歩いたことでしょう。

※碑は、昭和7年(1932)に瑞林寺山門前に建立されました。碑の裏側には、「梅が香の奥や火をうつ男住 魯九」と彫られています